

M E E T

Miyako Environmental Education Times

発行：環境教育プロジェクト

平成27年(2015年)3月1日(日)

第77回の「環境教育ミーティング」は長岡京市の後援をいただき、長岡京市女性の会により、「地球にやさしいエコライフ～できることから実践しよう～」と題して、1月15日(木)に長岡京市立中央公民館と共催で、開催しました。

この会は平成20年度から地球温暖化防止の学習を行い、家庭の省エネを実践してこられました。また、会員や市内の小・中学校などにゴーヤーの苗を配り、グリーンカーテンづくりを通して環境啓発をされてきました。

現在「みんなで節電、スマートに省エネ。今すぐ始めよう CO2 削減！」を合言葉に、地球のため、未来のために活動しておられます。

今回は①スライドで7年間を振り返る。② 活動内容を紹介、③環境紙芝居の上演

④省エネアンケート、⑤リサイクルおもちゃ「マンカラゲーム」で遊びました。

参加者の感想

1

「長岡京市女性の会」の最近の活動内容を詳しくお聞きすることができました。

長年幅広くいろいろな活動しておられますが、同じことの繰り返しにならず、次々と新しいテーマに取り組んでおられること、さらに習得されたテーマを、小学校の環境学習や、「長岡京市環境フェア」等に出展して広く市民に広げておられることに感心しました。

リサイクルおもちゃ「マンカラゲーム」を実際に遊ばせていただきました。単に工作するだ



けでなく、楽しく遊べる取り組みで、ゲーム性や勝ち負けのある遊びは子供だけでなく大人も病みつきになるようでした。

また、日頃家庭で実践している省エネ方法についての話し合いがされました。

私が最近気に入っている毛布生地を使ったガウンを紹介しました。裾は長めで椅子に座った時、足の先まで温かく、ゆっ

たりしていて着やすい上着です。暖房費の節約になり、最近のおすすめ省エネグッズです。

2

主婦目線での生活に密着した内容での活動や、小学生を対象にした『楽しい』学習方法を考えられるなど、たいへん





参考になりました。

何より、メンバーのみなさんが生き生きと積極的に関わられ、

『学んだことは啓発したくなる、実践してみたくなる』とすぐに行動に移されるパワーが素晴らしいと感じました。

省エネアンケートも、自分自身で書くことで意識も高まりますし、ほかの人の意見を聞くと、新たな工夫も知ることができ、いい方法ですね。また、マンカラゲームも、実際に遊んでみるとすぐにわかるルール・手順で、低学年から高齢者まで一緒に楽しめるリサイクルおもちゃなのが良いですね。「すぐに飽きたり捨てられるリサイクルおもちゃをつくるより牛乳の空きパックとしてそのままリサイクル原料として出すほうが、ずっとエコだ。」と考えていた私ですが、これく

らい、何度も遊べて頭も使い、しまうことも考えてあり、どんぐりや石などの自然素材を使うこともできるおもちゃなら、ぜひ作ってみたいと思いました。

2時間があつという間に感じたくらい、もっと細かくお話を聞きたかったくらいです。

私自身も環境フェスティバルなどへの出展をしています。どこかでまたお会いできるのを、楽しみにしております。

3

初めて参加させていただきました。様々に省エネの話や地球の現状についての講演に考え直さなければと痛切に思いました。生活の中では圧力鍋でご飯や煮物を炊いたり、部屋にいないときはすぐに電気を消したり、裏の庭に雨水をためて

水遣りに使ったりと、少しはエコに気を付けています。今年はゴーヤのグリーンカーテンに挑戦したいと思いました。

本当に裏方に徹して、グラフにしたり、分かりやすく説明してくださり、また楽しい「マンカラゲーム」で遊ばせて頂きたりと、ご尽力、大変に有難うございました。

4

「女性の会」の皆様の環境全般への活動を伺い、先ず、驚いたことが、最初から大きな成果を求めることなく、身近な地域社会や各家庭において、温暖化対策や省エネの活動を行われていることでした。

女性ならではの粘り強い意志が、地道な活動を続けておられる源泉になっているのでしょう。(ちょっと表現が難しいです) 大いに見習わさせて頂きたいと思いました。

早速、リサイクルおもちゃ「マンカラゲーム」を牛乳パックで作って家族で遊びました。

おはじきが無かったので、牛乳パックを切りマジックで印を付け、100%牛乳パックです。流石、孫たちは一度教えると上手くなり、大人達も一緒に楽しい時間が過ごせました。

エコって良いですね。

